

2026年10月15日

各 位

会 社 名 グロースエクスパートナーズ株式会社

代表者名 代表取締役社長 渡邊 伸一

(コード：244A、東証グロース市場)

問合せ先 取締役コーポレート統括本部長 河西 健太郎

(TEL. 03-5990-5423)

配当方針の変更及び剰余金の配当（初配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当方針の変更を決議するとともに、2026年8月31日を基準日とする剰余金の配当（初配当）に係る議案を、2026年11月26日開催予定の第19回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更

(1) 変更前の配当方針

当社は、上場以来、将来の事業展開及び財務体質の強化を勘案し、内部留保の確保を配当政策の基本方針とし、これまで配当を実施しておりませんでした。内部留保は、人財の獲得・育成や、M&Aによる事業規模の拡大を企図した投資機会への備えを中心に活用を想定してまいりました。

(2) 変更後の配当方針

当社は、成長投資を最優先とし、戦略的資金及び適正な手元資金を確保したうえで、なお生じる余資を、株主の皆様への安定的な利益還元に向け、振り向けることで、資本効率の向上を図ることを基本方針といたします。

具体的には、DOE2.0%を安定配当の下限の目安としたうえで、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向20%程度を目安として配当を実施いたします。配当性向は、成長投資の進捗や業績等を踏まえ、3年後を目途に30%超を目標として段階的な引き上げを検討してまいります。本方針は、2026年8月期の期末配当から適用いたします。

(3) 配当方針の変更の考え方

生成AIの急速な普及により、企業の事業変革に対する市場ニーズが変化しつつあります。当社は、個別のシステム開発・導入支援にとどまらず、AIを前提とした顧客企業の業務プロセス・収益構造等の再設計をリードする「事業変革パートナー」への転換を重要なテーマと位置付け、戦略コンサルティング機能を担う新会社（株式会社社会価値変革研究所）の設立等を通じ、事業変革（AX）を主導する体制の構築を進めております。

これにあわせ、成長投資の対象も、従来のM&Aによる事業規模の拡大中心から、人的資本・テクノロジー基盤への投資、研究開発、事業戦略との親和性が高い企業等との協業・連携・出資など、多様な投資へと広がってまいります。当社は、これらを資本配分上の最優先事項とし、資本コストを意識し

て、中長期的な企業価値向上への貢献が期待できる案件を選別したうえで、積極的かつ機動的に投下していく方針です。

一方、現在の現預金水準、自己資本比率及び今後の資金需要等を検討した結果、財務基盤は既に適正な水準にあり、今回の配当後も成長投資に向けた十分な資金余力を維持できると判断しております。これにより、成長投資による企業価値の向上と、資本効率を意識した株主還元との両立を図ってまいります。

2. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年7月15日公表)	前期実績
基準日	2026年8月31日	同左	2025年8月31日
1株当たり配当金	22円00銭	0円00銭	0円00銭
配当金総額	73百万円	—	—
効力発生日	2026年11月27日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

上記の方針に基づき、2026年8月期の期末配当（当社初）を、業績、財務基盤及び成長投資に必要な資金等を総合的に勘案し、1株当たり22円00銭として株主総会に付議することといたしました。これにより、配当性向（連結）は18.5%、DOEは2.0%となります。本件は、定款により決定機関を株主総会としていることから、2026年11月26日開催予定の第19回定時株主総会における承認可決をもって確定いたします。

なお、2027年8月期の配当予想は未定とし、今後の業績や成長投資の進捗等を踏まえ、決定次第、速やかにお知らせいたします。資本配分（キャピタルアロケーション）の詳細は、2026年11月末公表予定の中期経営計画（事業計画及び成長可能性に関する事項）においてご説明する予定です。

以 上